

# ちとせ 市議会だより

No.198



## 令和4年 第4回(12月) 定例会

『雪の妖精』と呼ばれる大人気のシマエナガ。

市内の青葉公園や、青空公園、まれに住宅街でも見られます。そんな可愛らしいシマエナガをこれからも撮っていきたいと思います。

【撮影者】千歳市高台2丁目在住 執行 伸 さん

【撮影場所】北海道さけ・ますふ化場付近

### 目次

- 定例会のあらまし、各委員会の開催状況 … 2～4 ページ
- 一般質問 …………… 5～12 ページ
- 行政視察報告 …………… 12～13 ページ
- 要望活動、議員出欠状況 …………… 14 ページ
- 議決結果 …………… 15 ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 …………… 16 ページ

# 定

# 例会のあらまし

令和4年第4回定例会は、12月1日から12月15日までの15日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和4年度一般会計補正予算、条例の制定など、報告4件、議案18件、諮問4件、陳情1件、意見案2件が提出されました。

このうち、追加議案として提出された補正予算の議案3件は、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置して審査を付託しました。

また、即決を必要とする議案を除くほかの議案は、関係する常任委員会等に審査を付託しました。

その結果、各議案等は原案のとおり可決、同意し、諮問については可と決定しました。今定例会の主な議案等の内容は、次のとおりです。

## 令和4年度補正予算

### ◆一般会計補正予算(第6回)

歳入歳出予算の総額に  
14億1千411万2千円  
を追加

#### 主な補正予算の内容

- ・庁舎維持管理費 4千901万7千円
- ・特定防衛施設周辺整備調整交付基金積立金 9千429万6千円
- ・ふるさと納税推進事業費 4億8千238万3千円
- ・車両管理業務経費 △60万2千円
- ・バス等運行管理業務経費 △43万6千円
- ・高齢者運転免許自主返納サポート制度事業費 65万3千円
- ・コミュニケーションセンター管理運営業務経費 1千121万7千円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 21万5千円
- ・後期高齢者医療費管理運営事業費 △8千842万円
- ・防災・減災等事業支援事業費 81万2千円
- ・総合福祉センター管理運営業務経費 476万3千円
- ・子育て総合支援センター施設管理経費 941万8千円
- ・学童クラブ事業費 30万5千円
- ・保育施設ICT等導入支援事業費 560万円
- ・子どもの安心・安全対策事業費 126万円
- ・地域型保育施設電気料金高騰対策事業費 85万5千円
- ・児童館管理運営事業費 261万2千円
- ・生活保護事業費 2億5千万円
- ・出産・子育て応援事業費 1億5千179万1千円
- ・環境センター管理運営業務経費 4千194万6千円
- ・飼料・肥料高騰緊急対策農業者支援事業費 3千252万2千円
- ・バイオマス地産地消推進事業費 260万4千円
- ・公設地方卸売市場事業特別会計繰出金 53万円
- ・街路灯・防犯灯維持管理経費 2千650万1千円
- ・ロードヒーティング管理経費 837万2千円

- ・防犯灯LED化促進事業費 83万円
- ・市内公園整備事業費 840万円

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に  
339万8千円を追加

主な補正予算の内容

- ・国民健康保険事業財政調整基金積立金 207万1千円
- ・償還金 83万2千円

◆公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に  
407万6千円を追加

主な補正予算の内容

- ・公設地方卸売市場施設管理業務経費 407万6千円

主な条例

◆千歳市一般職の任期付職員  
の採用及び給与の特例に関する  
条例の一部を改正する条例

令和4年8月8日に行われた  
人事院勧告に鑑み、本市特  
定任期付職員の給料及び期末  
手当に所要の改正を行うため  
に制定。

◆千歳市職員の給与に関する  
条例の一部を改正する条例

令和4年8月8日に行われ  
た人事院勧告に鑑み本市職員  
の給料及び勤勉手当に所要の  
改正を行うために制定。

◆千歳市議会議員及び千歳市  
長の選挙における選挙運動の  
公費負担に関する条例の一部  
を改正する条例

選挙運動用自動車の使用並  
びに選挙運動用ビラ及び選挙  
運動用ポスターの作成に係る  
公費負担額に所要の改正を行  
うために制定。

◆千歳市個人情報保護条例等  
の一部を改正する条例

個人情報保護に関する法  
律の一部改正による個人情報  
保護制度の見直しに伴い、同  
法の施行に関し必要な事項等  
を定めるために制定。

◆千歳市職員の定年等に関す  
る条例等の一部を改正する等  
の条例

地方公務員法等の一部改正  
に伴い、職員の定年を引き上

げるとともに、職員の給与等  
について必要な事項を定め、  
併せて関係条例に所要の改正  
等を行うために制定。

◆千歳市会計年度任用職員の  
給与等に関する条例の一部を  
改正する条例

本市職員の給与と改定に準  
じ、会計年度任用職員の給料  
に所要の改正を行うために制  
定。

◆千歳市手数料徴収条例の一  
部を改正する条例

都市の低炭素化の促進に関  
する法律施行規則の一部改正  
等に伴い、低炭素建築物新築  
等計画及び建築物エネルギー  
消費性能向上計画の認定等に  
係る手数料に所要の改正を行  
うために制定。

◆千歳市サーモパーク条例  
の一部を改正する条例

駐車場の附属設備の使用料  
を定めるために制定。

その他

◆指定管理者の指定

次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市サーモパーク

【管理期間】

令和5年4月1日から

令和12年3月31日まで

【指定管理者】

静岡県熱海市上多賀686番地  
株式会社TTC

代表取締役 河越 康行

◆指定管理者の指定

次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市在宅福祉総合センター  
千歳市祝梅在宅福祉センター

【管理期間】

令和5年4月1日から  
令和10年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市東雲町1丁目11番地  
社会福祉法人  
千歳市社会福祉協議会  
会長 力示 武文

◆札幌圏消防指令システム更  
新工事に係る費用負担

【費用負担対象工事】  
札幌圏消防指令システム更  
新工事

【千歳市負担額】  
3億3千874万741円

【負担額の根拠】  
対象工事を共同で行う札幌  
圏の6地方公共団体間の協定

【費用負担の相手方】  
札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市長 秋元 克広

【費用負担対象工事】

札幌圏消防救急デジタル無  
線システム更新工事  
【千歳市負担額】  
2億5千11万2千5百円

【負担額の根拠】

対象工事を共同で行う札幌  
圏の6地方公共団体間の協定  
【費用負担の相手方】  
札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市長 秋元 克広

◆市道路線の認定

開発行為により、

09-03東7号道路を認定。

○起点 09-03南6号道路

○終点 09-03南6号道路

09-03南10号道路を認定。

○起点 09-03東7号道路

○終点 09-03東7号道路

人事

◆次の件に同意

◎公平委員会委員に

打矢 郁子さん(新任)

◎固定資産評価審査委員会委  
員に

河野 宏之さん(再任)

◆次の件を可と決定

◎人権擁護委員候補者に

山内 雅彦さん(再任)

豊田 淳治さん(再任)

谷田 秀明さん(再任)

阿蘇 利子さん(新任)

## 意見書

第4回定例会において、議員提案された意見書2件を原案可決しました。

◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

◆森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

## 陳情

◆陳情の審査結果について

◎件名

医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書

・提出者

北海道医労連札幌地区協議会  
議長 黒岩 勉

・付託委員会

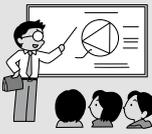
厚生環境常任委員会

・審査結果

不採択

## 各委員会の活動状況

11月～12月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



**総務文教  
常任委員会**

▼11月25日(金) 13時

千歳市議会議員及び千歳市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正(案)の概要を含む11件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月2日(金) 13時

千歳市議会議員及び千歳市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案6件を原案可決とし、みんなど進める千歳のまちづくり条例についての提言

の概要を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月9日(金)

本会議終了後

令和4年度千歳市各会計補正予算(案)の概要の所管事務調査を報告済みとし、令和4年度行政視察報告について決定した。



**厚生環境  
常任委員会**

▼11月28日(月) 13時

指定管理者の指定の概要を含む5件の所管事務調査を報告済みとし、令和4年度の行政視察報告について決定した。

▼12月2日(金) 13時

指定管理者の指定について、第4回定例会付託議案1件を原案可決とし、陳情第3号「医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書」を継続審査とした。

▼12月12日(月)

本会議終了後

令和4年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要を含む4件の所管事務調査を報告済みとし、陳情第3号「医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書」を不採択とした。



**産業建設  
常任委員会**

▼11月28日(月) 13時

企業誘致状況を含む11件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月2日(金) 13時

千歳市サーモンパーク条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案4件を原案可決とした。

▼12月12日(月)

本会議終了後

令和4年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要を含む4件の所管事務調査を報告済みとした。



**議会運営  
委員会**

▼11月30日(水) 10時

第4回定例会の議事運営について決定し、陳情の取り扱い、意見書の提出および議会改革(交流学習会、市民の声を聴く会など)について協議した。

▼12月8日(木)

本会議終了後

第4回定例会5日目の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革(議員学習会、交流学習会など)について協議した。

▼12月14日(水)

補正予算特別委員会終了後

第4回定例会最終日の議事運営について決定し、意見書の提出について、議会改革(市民の声を聴く会など)および千歳市議会の個人情報保護に関する条例の制定について協議した。

**問** 若草1丁目の高齢者は向陽台の諸施設に行く時や市内の諸施設から帰ってきた時、バス停から真町泉沢大通りの片側2車線の横断歩道を渡る。この青信号の時間は38秒だが、歩幅が狭くなっている高齢者は時間内に渡りきることができず、視力の低下により信号が変わったことや車の接近にも気がつかず足元を見ながら、赤信号を不安のまま進まな

向陽台入り口の横断歩道の青信号の時間延長



無所属  
落野 章一 議員

ければならない。免許返納が進む中、バス利用は必須だ。青信号時間を延長することはできないか伺う。

**答** 市長 高齢者や体の不自由な方など、横断歩道の通行に時間を要する方への対応として、歩行者用青信号の時間の長さを変更する方法と高齢者等感应式信号機を設置する方法があり、高齢者等感应式信号機については、白色押しボタン箱のボタンや専用の携帯用発信機の操作で青信号の時間を長くするものである。地域から要望があった場合、交通量や横断歩道の利用状況などを考慮し、北海道公安委員会が総合的に判断すると伺っている。今後、地域関係者から状況を伺い、

**問** 以下4点を伺う。①タウンプラザ跡地の利用状況と今後の計画。②旧タウンプラザの建物や事業の運営に対して市は固定資産税の減免など支払い支援してきたが、跡地の利用について市や商店街振興組合と協調連携していく状況はあるのか。③商店街が行うまちづくりを市はどのようにサポートするのか。④予定されている単身者棟について生活利便施設や商業施設を設ける可能性はあるのか。

**答** 市長 ①施設所有者のセントラルリーシング(株)は、

商店街の活性化  
まちづくりのルール

実態を確認し、警察署に伝えたいと考えている。

賃貸集合住宅の着工に向けて10月から解体工事を行っている。昨年6月の事業概要ではファミリー向けの賃貸集合住宅の1階に、生活利便施設等の併設を予定していたが、物価高騰等でテナントの確保が難しく収益が見込めないことから、生活利便施設は併設しないことが示された。②これまでの協議により、地元商店街から要望があった敷地の一部をイベント会場として開放することや、駐車場の出入りについて歩行者に配慮するなど、地域貢献に協力していただけることになった。市はグリーンベルト周辺の日常的なにぎわいづくりに向け、施設所有者や商店街などと引き続き協調連

携して取り組んでいく。③市は第3期商業振興プランにおいて、民間が主体となつてまちづくりを進めるエリアマネジメントの推進を施策に位置づけ、官民の幅広い関係者が参画し、まちづくりの方向性やグリーンベルト周辺エリアの将来像を議論・共有する組織として、エリアプラットフォームを構築した。今年度は、ちとせ未来ビジョンを策定し、具体的な施策の実現に向けて検討しており、商店街へのサポートが必要となつた際には支援の在り方についてよく検討していく。

産業振興部長 ④単身者棟については当面先送りになつており、いつ頃から開始かも未定である。

# 市政 に ついで の 質 問

今定例会では、12月7日から10日までの4日間、各会派等からの一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

## 一般質問議員

- ☆無所属  
落野 章一 議員
- ☆自民党議員会  
古川 昌俊 議員  
飯田 盛好 議員  
岩満 順郎 議員  
北原 偉男 議員  
渡部謙太郎 議員
- ☆公明党議員団  
平川美由紀 議員  
仲山 正人 議員
- ☆ちとせの未来を創る会  
北山 敬太 議員
- ☆日本共産党  
吉谷 徹 議員
- ☆日本維新の会・新党大地  
丸岡 伸幸 議員



← 質疑の様子は、HPからご覧いただけます。



自民党議員会  
古川 昌俊 議員

市長の政治姿勢

**問** 山口市長は、5期20年を最後として今期で市長職を勇退されることを発表され、いよいよその時が来たのだと納得はしたが、就任当時から議場にいた者として、大変寂しく思う次第である。そこで伺う。市長は、第7期総合計画を令和3年からスタートし、向こう10年の道筋ができ、市政の一定の方向づけができたと思いたが、①策定に込めた「思い」

について伺う。②この道半ばの計画を着実に達成されるために、どのように次の市長に思いを伝えていくのか、伺う。

**答** 市長 ①5期20年間の任期中は、「新長期総合計画」から始まり、「第6期総合計画」、そして令和3年度を始期とする「第7期総合計画」を策定し、これまで総合計画に基づいたまちづくりに鋭意取り組んできました。

この間、本市の人口も大きく伸び、私が市長に就任した平成15年4月時点での本市の人口8万9千人は、平成30年4月に9万7千人に到達し、平成28年3月策定の「人口ビジョン・総合戦略」で設定した平成32年の目標人口を2年前倒して

達成した。

その際、市民の皆様と一緒に目標を達成できた喜びは非常に大きなものがあった。また、これまでの人口増加や現在の人口の維持については、企業誘致やさまざまな子育て施策、千歳科学技術大学の公立化、勇舞中学校やみどり台小学校の建設などに加え、まちの魅力を支える情報発信など、これまで取り組んできた施策による成果であると考えている。第7期総合計画の策定時は、世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、人口動態の変化に加え、人々の行動制限や各種イベントの自粛、中止などの影響による社会経済の変化が見られた時期

であった。策定にあたっては、「新型コロナウイルス感染症」や「地球温暖化への対応」、デジタル化の推進などの課題をはじめ、刻々と変化する社会情勢や市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる計画とすることを念頭に、まちの活力、発展の原動力は“人”であることを意識し、将来に向けた人口の増加を維持することで発展を続け、魅力的なまちとなることを目指し、将来人口を10万人としたところであり、第7期総合計画に基づいた施策を着実に進め、将来都市像の実現を目指すことよって、市民の皆様にとつて「幸せ」を感じ、「住み良い」「住んで良かった」と思えるまちが実現するも

のと考えている。  
②これまで、第7期総合計画の達成に向けた私の「思い」は、本計画の策定過程や、市議会など、さまざまな場を通じて伝えてきたところである。私としては、目指すべき市政の方向性をよく理解し、第7期総合計画を着実に達成していただける、そのような方が市長になつていただければ大変喜ばしいことであり、私も積極的に協力していきたいと考えている。

その他の質問  
・市民協働によるまちづくりについて



自民党議員会  
飯田 盛好 議員

学校行政について  
事故防止

**問** ①小中学校において、令和3年度に怪我等で保健

室を利用した状況について伺う。②教育活動中における児童生徒の怪我等の予防のために行っている安全管理や対策について伺う。③熱中症に関わる危険性の把握方法と安全管理等について伺う。④理想としては全教室にエアコンの設置を望むが、まずは各学校の保健室に熱射病や熱中症対策と

してエアコンを設置すべきと思うが、所見を伺う。

**答** 教育長 ①1校あたりの1日平均利用者数は、小学校で8・1名、中学校で3・4名であり、外科的理由が約53%、内科的理由が約47%である。②施設面では、日常的な点検の実施、健康面では、養護教諭が作成する保健だよりで啓発を行い、

生徒の健康保持増進に努めている。③熱中症についての校内研修の実施のほか、健康観察により、活動の軽減や休息などをとることで、安全な学校活動を行っている。さらに児童生徒自らが熱中症を理解し、症状が現れた場合には、涼しい場所で安静にするなどの行動をとることができるよう指導

し、気兼ねなく体調不良を言い出すことができ、相互に気遣える環境の醸成などに努めている。④保健室では、必要な処置を行っているが、室温自体を下げることはできず、状況によっては十分な対応ができない可能性もある。エアコンの設置により、熱中症発生時にも適切な措置ができる環境

を整備しておくことは大変重要と考えており、保健室へのエアコン設置については、市長部局と協議しながら、よく検討していく。

道路行政について  
除雪・排雪事業

①交差点の雪山処理、特に右側についてはその都度確実に行うのか伺う。②

子どもたちの安全を確保するために、通学路である主要歩道については確実に除排雪を行うのか伺う。③昨年の大雪を教訓として、情報発信の改善した事項、並びに雪堆積場の改善した事項について伺う。④非常時(災害時)自衛隊の演習場の一部を雪堆積場として借りることができるのか可能性

について提案したが、その後の自衛隊との調整・確認事項は行われたのか伺う。

答 市長 ①幹線道路の通行を優先することなどから、交差点の右側の雪山を低くするには、一定の期間が必要で常時雪山を低く保つことが難しい場合がある。②午前7時を目標に除雪を行うこととしているが、明け

方から降り始めた場合など「予防保全型」での計画排雪を行っても間に合わない場合があるため、通学路の除雪が間に合わない場合は、ホームページやLINEなどで情報発信していく。③情報発信の改善として、12月から除雪車両の位置情報などを地図上にリアルタイムで表示し、スマートフォ

ンなどで閲覧できるサイトの公開、堆積場の改善として、流通業務団地と都雪堆積場は面積を広げることに加え、防災の森横の市有地などを活用することとした。④災害級の降雪があった場合は、自衛隊から協議できるといふ回答をいただいていることから、協力支援について協議していく。



自民党議員会  
岩満 順郎 議員

循環型社会の構築

問 この5期、約20年において山口市長のトップセールスをはじめとする関係者の努力により、企業誘致が

成功して交流人口の上昇や生産性の高いまちができ、その成果を称賛するところである。しかし、本市の特性でもある防衛省の基地・駐屯地が3か所あるまちでありながら、防衛産業が少なく。今後、企業誘致についても防衛産業の企業の誘

致をぜひ行っていただきたい。自衛隊のまちでもある本市に、部隊もそれを支える防衛産業の企業も多く存在し、自衛隊隊員の退職後には、防衛のプロとして、ノウハウを最大限に発揮でき、千歳で働き続けたいと思う方がこのまちで働ける循環型の就職支援ができる環境整備ができたかと考えるが、市の見解を伺う。

答 市長 防衛産業関連企業は、製造拠点の立地場所や事業内容について、多くが機密事項となっており、製造拠点は、国防上において重要な位置づけとされ、民間企業だけの意志ではなく、国が関与して判断されるものであるため、国の動向を注視し、情報収集を行

つていく。また、自衛隊退職者は地域への貢献や地域防災力の向上の観点などから、市内企業に就職をしていただくことは大変重要と考えている。市では、再就職に関する支援業務を行う団体などと連携を図るほか、自衛隊退職者の採用に意欲を持つ企業の求人情報の提供や、立地企業や進出企業への訪問機会を通じて自衛

し、球場へ行く旅行者などへの特典として、球場までの送迎、また、宿泊者には現在でもコロナ禍に行っているクーポンの発行など、千歳市内で飲食をしてもらい、支笏湖や千歳水族館に足を運んでもらうような経済・観光の活性化につながる事業を検討してはどうかと思うが、市の見解を伺う。また、今回、本市出身の伏見寅威選手が日本ハムファイターズに移籍してきたことから、応援大使事業のよ

うな取り組みを継続する必要があると考えるが、市の所見を伺う。

答 市長 北海道ボールパークは、さらなる観光振興につながる機会であると認識し、市は、オール北海道

経済産業・観光の活性化

問 北広島市にエスコンプイールド北海道が開業することに伴い、千歳市に宿泊

所見を伺う。

答 市長 北海道ボールパークは、さらなる観光振興につながる機会であると認識し、市は、オール北海道

ンなどで閲覧できるサイトの公開、堆積場の改善として、流通業務団地と都雪堆積場は面積を広げることに加え、防災の森横の市有地などを活用することとした。④災害級の降雪があった場合は、自衛隊から協議できるといふ回答をいただいていることから、協力支援について協議していく。



自民党議員会  
北原 偉男 議員

地域コミュニティについて

**問** ①町内会の現状として、町内会への加入率の減少、担い手不足、役員の高齢化などの問題が顕著になりつつあるが、現在の町内会の加入率及び町内会の活性化に向けた条例について所見を伺う。②民生委員の職務は、重要かつ大変なものであり、なり手不足も問題である。民生委員の委嘱並びに活動状況について、また、民生委員の活動をフォロ

ウする体制はないのか伺う。  
**答** 市長 ①本年8月1日現在、市内全世帯数4万8千345世帯に対し、町内会加入世帯数は2万8千230世帯で、加入率は58・39%となっている。町内会は、強制加入団体でないため、加入の義務づけには法的限界があり、条例を制定する場合は、市民や事業者などの理解を深めるとともに実効性のある内容とすることが重要と考える。町内会の加入促進は重要な課題と捉えており、条例については、加入率向上の効果や実効性を高める方策について、今後、市町連等との話し合いの場を設ける。②12月1日の一斉改選により、定数の220人のところ、204

人で16人が欠員となっている。委員の活動は相談や福祉サービス等の情報提供、高齢者世帯などの安否確認のほか、行政機関との連携など多岐にわたっている。民生委員の職務を補完する施策としては、千歳市社会福祉協議会において町内会単位で設置している福祉委員や、新聞配達事業者や郵便局などの協力事業者との連携による千歳地域見守りネットワーク事業がある。

学校行政について

**問** ①市内各中学校の学生服は、来春から徐々にブレザータイプに変更され、付属品や任意購入の物品などを含めると、学生服の価格

が高価になることが懸念される。デザインは、各校独自の物になる予定だが、将来的に、共通デザインとしてエンブレム等で学校の識別を行い、学生服の価格を下げることは可能か、所見を伺う。②大雪の影響を受け学校を休業にする場合の決定方法について伺う。また、臨時休業の連絡に気付かず家庭を出たお子さんへの連絡方法として、防災無線や市のLINEで伝えることは可能か伺う。

**答** 教育長 ①制服は、各学校が伝統や校風、生徒や保護者の意向、価格にも配慮するなど、保護者等との共通認識の下、各学校において選定が行われているので、学校の決定を尊重すべしと考えている。②臨時休業する場合の基準を定めており、特別警報などの発表があった場合や24時間以内に発表が予想される時は、登下校時や教育活動中における気象状況の変化などについて情報収集を行い、総合的に勘案し決定している。臨時休業の周知に防災無線等を使用した場合、児童生徒が理解し、その後の行動を自分で判断する必要があり、低学年の児童などは、内容が正しく理解することができない可能性がある。臨時休業等に関しては、保護者へ直接伝えることで児童生徒の安全を確保することが第一であると考え、保護者へ確実に情報が伝わるよう対応していく。



自民党議員会  
渡部謙太郎 議員

教育行政について

**問** 新型コロナが続くなか、市内小中学校に通う児童生

徒にとつては、年度末に向かって受験や卒業式など非常に重要なイベントが控えている。感染拡大を防ぎつつ、可能な限り学校行事が実施され、児童生徒に健やかな学校生活を送ってほしいとの想いから質問する。  
①現在の学級閉鎖等の実施基準を、保護者にも正しく認識してもらうため、市ホ

ームページなどでわかりやすく周知してみているか。  
②給食時の黙食の扱いについて、教育委員会としての方針を伺う。  
**答** 教育長 ①教育委員会では、これまでも学級閉鎖の考え方や、校内の感染症対策の基本事項、感染した場合の出席の取扱いなど、学校を通じて、都度、児童

生徒や保護者へお知らせしてきたが、情報が多岐にわたり、わかりにくい面もあることから、小中学校の学級閉鎖の情報に合わせ、実施基準などの情報についても市HPに掲載をする。②文科省から、飲食の場面における感染症対策に関する通知が発出された。教育委員会では、「大声での会話を

GXへの取り組みについて

控えるなどの食事マナーに配慮させること」、「対面とならないよう座席の配置や教室内の換気に配慮すること」、その上で「児童生徒間の会話をすることも可能であること」などについて各学校へ通知を行った。

**問** ①環境問題の解決と経済成長を実現させるための社会変革を目指すGX（グリーン・トランスフォーメーション）についての市の所見を伺う。また来年度、地方公共団体実行計画を策定するにあたり、GX戦略を組み込むべきと考えるが市の所見を伺う。②電力不足や光熱水費などのエネルギー



公明党議員団  
平川美由紀 議員

補聴器購入費の助成

**問** 補聴器は、加齢性の難聴に悩む高齢者の「聞こえ」を補い、身の安全と日常生活を支えていくのに必要だが、その多くが10万円を超える高価なものがほとんどである。軽度・中等度の場合、高額な購入費への国の支援がないため、使用をためらう人も多くいる。性能の良い補聴器を手頃な値段で購入できるようになれば、難聴に悩む高齢者にとってど

問題の解決のため、市内企業がもつ次世代エネルギーなどの先進技術を積極的に活用すべく、これらの市内企業との連携や支援が必要と考えるが所見を伺う。

な魅力づくりやブランディング、エネルギーの地産地消、地域のレジリエンス強化の実現に資する有益な取り組みと認識している。実行計画策定に向け、本年度は再生可能エネルギー活用調査を実施しているが、GXを実行力のある取り組みとするために市民や事業者、関係団体、大学で構成する

れほどありがたいことかと思われる。聴力低下により日常生活に支障のある高齢者への補聴器購入費助成に対する見解を伺う。

**答** 市長 補聴器の利用にあたり、聴力の低下が重度の方など、社会生活に困難な方に対しては、身体障害者手帳による補装具費支給制度があり、所定の手続きを経て基準に該当した場合

には、購入費用が支給される。また、補聴器の購入費用は、医療保険制度の適用とはならないため、購入費用の全額が自己負担となるが、平成30年の補聴器購入分からは、専門医師による診療や治療などのために必要な補聴器の購入費用について、医療費控除の対象と

検討部会や庁内会議において、GXの取り組みについて検討する。②市内での先進的なモデル事例の紹介や意見交換などにより、千歳工業クラブとの情報共有を図るなど、市内事業者との連携を深めていく。また、経産省、環境省などの補助制度の活用方法や人材育成などについて必要な支援を

行う。市としては、地球温暖化の現状やカーボンニュートラルに関する知識の普及啓発を図るとともに、先進的なGXの取り組みを市民や事業者、行政が一体となって進めることで、千歳市の新たな魅力や美しい自然環境を後世につなげられるよう皆様と知恵を出し合い脱炭素化社会の実現を目指す。

される場合があり、一部負担は軽減されている。現在、国において、軽度・中度など身体障害者手帳の対象とならない高齢者に対する補聴器購入費の助成は、制度化されていないため、市として独自に実施することは考えていないが、今後も国の動向を踏まえながら、調査研究していく。

水道スマートメーター

**答** 市長 本市においては外部委託事業者の9名の検針員が毎月現地において検針業務を行っているが、空港内や一部商業ビルなど検針が困難な場所は、ハンデタイマーミナルと呼ばれる無線端末機を使用して検針を行っている。この機器の更新時期がきたことから、検針が難しい物件への対応や郊外地域の検針場所への移

**問** 遠隔で各家庭の水道使用量などのデータを自動的に送信できる水道スマートメーターは、検針が困難なエリアでも容易に検針でき、検針業務の負担軽減につながられる。人口減少に伴う水需要の低下や、人手不足

に伴う検針員確保の困難化、さらに水道施設や管路の老朽化など、将来を見据えて水道のスマート化を推進し、水道事業が抱える課題解決と顧客サービスの向上に取り組むべきと考える。水道スマートメーターの導入状況と、今後の取り組み予定や導入計画を伺う。

動時間の効率化を図るため、水道スマートメーターの試験導入を行ったところであるが、検針員による検針値と水道スマートメーターによる数値に差異は無く、水道メーター情報を適切に取得できたことから、令和5年4月から約180件での運用に向け準備を進めている。水道スマートメーターの導入拡大の課題は、スマートメーター本体や通信費が高額であることやセキュリティ面のリスクなどがあることから、一部導入を通じて運用面の課題や効果などを検証するとともに、水道スマートメーターの普及率や汎用性の効用によるコストの軽減など、市場の動向を注視していく。



### フードバンクへの支援などについて

**問** フードバンク活動は食料支援がメインであるが、食品ロス削減や子ども食堂の安定運営、困窮対策を推進されている活動と理解している。安定的な食料支援を行うためには、支援が必要な方、食料を提供する方にとって、より身近な場所を受け渡しができる体制を構築する必要があると強く感じている。そこで、市内で食材提供者と受取側のマ

ツチングが可能となるサイトなどを開設すれば、食品ロス削減や子ども食堂の安定運営につながり、困窮対策に有効と考えるが、所見を伺う。

**答** 市長 市に食料提供者を探している相談があった場合、市から、子ども食堂への情報提供や必要に応じてフードバンクの紹介等を行うことで、提供側と受取側のマッチングを図っている。基本的には、市に寄せられる食料支援の相談は、市内に立地する企業や農家、個人の方からの相談であるので、提供側からの相談には、速やかに食料支援が行われていると認識している。このため、現時点ではポータルサイトの開設は考えていないが、市で

は、定期的に市内企業を訪問しており、食品関連の企業を訪問する際には、フードバンクの取り組みの紹介や企業が提供可能な食品等が発生した場合の対応などについて、情報提供を行っていく。

### 投票率向上について

**問** 明年4月には、統一地方選挙が行われる。全国的に投票率が低下する中で、平成15年に期日前投票制度が創設され、選挙期日前の投票手続の簡素化など、選挙人が投票しやすい環境が整えられている。本市においても、昨年の市議会議員選挙から、商業施設「ちとせモール」に期日前投票所が設置され、投票率向上に

つながっている施策と考える。現在は、2日間限定で行われているが、市民からは、投票期間の拡大や他のエリアへの拡大を望む声があるが、所見を伺う。

**答** 選挙管理委員長 ちとせモールは、これまで施設管理者の理解と協力により、選挙の際、臨時に使用可能な会場の提供を受けたものであり、施設の使用にあたっては、事前に施設管理者と日程や会場などを協議する必要があるので、安定的な会場を確保することが課題となっている。また、期日前投票所の従事者の確保については、選挙の都度、求人募集などを行っているが、必要な人員の確保に苦慮している状況にある。ち

とせモールでの投票期間の拡大については、施設管理者に引き続き協力を依頼し、必要な人員の確保に努め、拡大の可能性について検討していく。また、他のエリアへの拡大についても、選挙人の利便性を高め、投票機会の拡大につながるという点において、投票しやすい環境を整備することは、大変重要であると認識しているが、人員と使用可能な施設の確保といった課題に加え、常設の市役所期日前投票所との位置関係や、地域の選挙人の数などを考慮する必要があるので、臨時期日前投票所の配置パランスを含め、引き続き検討していく。



### 指定管理者制度への市民参加について

**問** 私が、人口近似市など56市に調査を行った結果、

「指定管理者選定委員会」に内部委員（市職員）が0の市が7市あった。また、委員に専門的知識を有する者を加えている市が27市、一般市民を加えている市が11市、利用者代表などの外部委員を加えている市も7市あった。私は以前から、選定委員の中に市民を加えることを提案しているが、こ

れらの事実を踏まえ、改めて市長の見解を伺う。

**答** 市長 付属機関などへの市民参加は、利用者目線における意見が期待できるものと認識しているが、指定管理者の選定においては、指定管理者として適した団体を見極めるため、「応募団体の業務遂行能力」、「提案事業の実現可能性」、「収支

計画の精算根拠の妥当性」、「適切な労働者の人員配置」などの観点から、限られた期間で評価を行う必要があるなど、選定委員については専門性が求められるものと考えていることから、市民からの選任は行っていない。専門職については、今後、社会情勢が変化する中で、多様な提案がされることも

### 市役所OBの働きかけ行為について

**問** 地方公務員法の規定で「再就職者による依頼などの規制」(いわゆる「働きかけ」)が禁じられているが、①具

予想されることから、どのような構成が良いのかも含め、調査研究したいと考えている。

体的にどのような要求、依頼行為を指すのか。  
 ②千歳市では退職管理に関わる教育をいつどのタイミングで職員に対して行っているのか。  
 ③当該営利企業などや、その子法人に対する処分に関する事務には、指定管理者の委任に関する行政処分も含まれるのか。



日本共産党  
吉谷 徹 議員

新型コロナウイルス感染症における現状

**問** 全数の届け出や把握の見直しがなされ、本年9月26日から高齢者などの重症化リスクが高い人に限定する運用が開始された。検査のあり方や陽性時の生活支援物資の届け方などにも影響が出て、これまでと違うことへの戸惑いを市民から相談が寄せられる。変化をきちんと把握できず、以前と何が変わったのか理解できていない市民も一定程度

**答** 市長 ①働きかけとは、元職員がその立場を利用して、契約を有利にするよう要求することや、認可基準を満たしていないにも関わらず、許可を要求するなど、現職員に対して、その職務上の行為をさせるように、またはさせないように要求する行為であり、名刺の配布や契約、入札、許認可な

どに関する一般的な問い合わせや事務手続きなどについては、これにあたらぬものとしてされている。  
 ②再就職情報の届出義務や再就職者に課される規制などについて再確認するとともに、その理解を深めるため、職員の退職時に改めて周知を行っている。  
 ③元職員の再就職先企業な

いる状況ではないのか。今一度、この感染症の発熱時の検査のあり方や陽性判明時の対応、保健所の業務について、以前と何がどのように変わったのか、市民向けにわかりやすい言葉での回答を伺う。  
**答** 市長 64歳以下の重症化リスクの低い方の支援は、発熱等の症状が現れ、軽快に至るまでは、自主的な選択が委ねられる。症状が現れ、基礎疾患があるなどで医療機関の受診を希望する方は、かかりつけ医に電話で相談し、かかりつけ医がない方は北海道の健康相談センターに電話で相談した上で、受診することになる。その後、陽性と診断された方は、自宅療養となるが、

どとの間で締結される契約や、当該企業などに対して行われる許可や認可などの処分に関する事務とされており、指定管理者の委任に関する行政処分もこれに含まれるものである。  
 その他の質問  
 ・在宅福祉総合センターな

どを指定管理者で公募する確たる理由について  
 ・在宅福祉総合センターなどの長期委託契約への切り替えについて  
 ・指定管理者制度導入施設の決定経過などについて  
 ・指定管理者の公募申請がなかった場合の選定の考え方について など

この段階で、重症化リスクが高い方などは、千歳保健所につながり、以前と同じように対応が進められる。軽症で自主検査を希望する方は、北海道陽性者登録センターに検査キットの無料配布を申し込みし、自己検査を行い、陽性となった方は、陽性者登録センターに申請し、自宅療養となる。途中、症状が悪化した場合、24時間対応する陽性者健康サポートセンターに電話で相談し、医療機関の受診や緊急搬送などのサポートを受けることになる。  
**問** 千歳市個人情報保護等の一部改正における影響  
 内容に聞き限り市民生活に影響がありそうに見える

るが、何が変わるのか伝わりにくいと感ずる。そうした中、まれなケースに対して以前より対応に時間がかかり、個人情報管理がずさんとなり、想定外の情報漏えい等が意図しない形で行われてしまうのではないかと懸念がある。DV等被害者の情報開示に関し、情報を出さないなどの対応をしていたと思うが、今までどおり守ってもらえるのか。個人情報に関わると感じたため、他の条例や法律の関係性を含め対応の変化や影響はあるのかを伺う。  
**答** 市長 このたびの条例改正では、新たに千名以上の個人情報名称や、記録項目、利用目的などの概要をファイル簿にまとめるこ

とが義務づけられたことや、運営審議会に諮る事項について、保有個人情報の目的外使用や外部委託によるデータ処理等が審議対象から除外され、条例を改正する場合などに限定された。法律の適用により、個人情報の取り扱いが全国的に統一されることになるが、運用についてはこれまでと同様に各地方公共団体が担うことから情報の開示や訂正などの決定に係る市の裁量等に変更はない。DV等の被害を受けている方への支援措置は、警察などが被害者を保護する必要があると判断した場合に、被害者からの申し出によって、情報開示に制限がかかることから、条例改正に伴う影響はない。



日本維新の会・新党大地  
丸岡 伸幸 議員

### 物価高対策について

**問** 物価高対策で、政府は非課税世帯に対して5万円の支給を決め、市はさらに1万2千円を上乗せし、計6万2千円を支給としたが、上乗せ分については「広報紙とせ」に記載せず、公に周知していないのは理解できない。この、市の1万2千円は大変な思いをしている世帯に支給した方が良いのではないか。また、地方創生臨時交付金で小中学校の

給食費の値上げを回避したように、何らかの給付をしてはどうかと思うが、そこで伺う。①「ちとせ市民応援商品券2022」の1次分、2次分のように、今後3次分、4次分と可能な限り発行することをお願いする。②電気、ガス、食料品などの値上げが続く中、黒字事業となっている水道事業は市で行っているのに、光熱費を軽減するためにも、水道料金の基本料金の免除や使用料の値下げを期間限定でもできないか伺う。

**答** 市長 ①ちとせ市民応援商品券については、物価高騰の影響を受ける市民生活への支援と地域経済の活性化を図ることを目的に、当初分として、9月1日か

ら市民1人当たり5千円分を配布し、物価高騰などの状況が長期化していることを踏まえ、新たに2次分として当初分と同額を11月中旬から配布しており、市民生活の安定と市内経済の好循環につながるものと期待している。今後は、まちの活力を維持するため、物価高騰による市民生活への影響や、国や道の経済対策の動向などをよく見極めながら対応していく。②令和6年度の料金改定について見直しを行い、水道事業会計における財政収支見通しの改善などのほか、新型コロナウイルス感染症の再拡大や物価高騰などによる市民や事業者の負担などを考慮し、2回目の料金改定を取

### 除雪について

**問** 幹線道路に車が出る時、雪山で見づらくなっているのに、雪山をけずるなど、視界がよくなるようにしてはどうか。

**答** 市長 歩道の除雪延長は、約220キロメートルあり、限られた除雪機械と人員で、短時間で効率よく行うためには、全ての路線の雪山を一齐に低くすることは難しい。なお、幹線道路と生活道路の交差点などにおいては、特に雪山が大きくなりがちで、事故の危険性が高まることから、常時の除雪時には、車両から見通しを確保するため、右側の雪山の高さを1・2メートルにするを目安とした作業に努めているほか、幹線道路等の排雪時には、雪山の高さを1・2メートル以下とするよう実施している。今後も、除排雪作業については、降雪状況などを把握し、限られた機材や人材を有効に活用しながら、冬期間の交通環境の向上に努めていく。

### 行政視察報告

各常任委員会では先進自治体などへの行政視察を実施しています。詳細については市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

### 【厚生環境常任委員会】

#### ◆宮古市歯と口腔の健康づくり基本計画について 岩手県宮古市（10月19日）

**【概要】** 宮古市歯と口腔の健康づくり基本計画は、すべての市民が生涯にわたって、いきいきと安心して幸せな生活ができる健康なまちづくりを目指し、歯と口腔の健康づくりを推進している。

宮古市歯科医院全21か所の協力を得て、家庭訪問、フッ化物塗布、地区歯科健康教室の体験型指導などを行うことで、市民の健康への行動変化や乳幼児がいる母親の意識が変わった。また、家庭訪問による独居老人の見守り効果などもあり、健康寿命の延長施策として、本市の将来に向けての大変

参考になる計画事例である。

#### ◆フードバンクポスト事業について 岩手県盛岡市（10月20日）

**【概要】** フードバンクポスト事業は、市民の善意が形になる場として、少量の食料から寄付ができ、地域における支え合い活動の推進や



食品ロスに関する周知の機会とするため、庁舎内のほか、23か所にポストを設置した。食料品には一定の条

件を付けて寄付を受け、消費・賞味期限の確認と仕上げ後に、生活困窮者や児童福祉施設などへ提供する。課題は、困窮家庭の把握のために業務を進める民生委員などの成り手不足であるが、食料の無駄削減と必要とする方への支援という循環をつくる手段として、とても有効的な事業であると

感じた。

◆オガール循環型まちづくりコースの現地視察について  
岩手県紫波町（10月21日）

【概要】紫波町は、国の補助金に頼らない公民連携手法を用いて、財政負担を最小限に抑え、環境と景観に配慮したまちづくりを進めて

いる。駅前には町庁舎、民間のホテルや保育所、紫波型エコハウスと呼ばれる住宅街が作られ、町内から集めた木質チップを燃料にして、暖房・冷房・給湯を住宅に供給している。課題としては、森林管理に対する資金や担い手不足であるが、企業や山林所有者、町が協定を結び、企業が資金を提



供し、間伐作業などを行うほか、県の森林税を活用して森林づくりの担い手を育成するなど、課題解決を図っている。100年後を想定した循環型まちづくりを提唱した町長と民間の実業家によるリーダーシップも大きい。何よりも町民や企業の理解と協力による一体感によって成されたもの

であり、豊かな暮らしとは、環境保全をきちんと意識して初めて実現することを深く感じた研修となった。

## 【総務文教常任委員会】

◆倉敷市公共施設等総合管理計画・倉敷市公共施設個別計画について  
岡山県倉敷市（11月7日）

【概要】平成26年に公共施設白書を作成し、各施設にどれだけお金がかかり、収入があるのか調査を行うなど、実態を把握し、翌年に施設ごとの老朽化の状況や維持管理費についての台帳を作成した。28年には基本的な方針を定めた総合管理計画を作成し、令和3年に公共



◆姫路駅周辺整備事業について  
兵庫県姫路市（11月8日）

施設個別計画を策定した。一番の課題は施設管理全体のマネジメントを誰が行うのかであり、相当な時間をかけて専門部署を創設しており、庁内横断的に情報管理・集約を実践している。本市も専門部署のようなチーム編成が実施されるよう政策提言していきたい。

【概要】市民団体などで組織する姫路駅北駅前広場整備推進会議において議論を進め、広場のデザインコンセプトを「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」とした。整備前は、約26%が歩行者空間で、駅前にはタクシー、バス等の待機など交通中心の駅前広場であったが、整備後は、約67%が歩行者空間となった。高架下のスペースを有効活用し、タクシー等の待機スペースや駐輪場、案内所、市民トイレなど、高架下空間の18%を公共利用している。姫路市の場合、駅前に対する考え方が観光の出発点になることから、他市の駅前整備とは違いがあると

【概要】令和3年に本市と連携協定を締結し、千歳市の次世代モビリティに関する



◆次世代モビリティについて  
日本航空㈱本社（11月9日）

観は一目で賑わい創出に効果を感じ取れ、美しい街並みが形成されている。

事項、JALが行う研究・実証実験を一緒に行うこととしており、本市と北海道のリゾート地を空飛ぶクルマで結ぶなどの検討を進めている。今後は、行き先の検討、インフラ整備、航路、ビジネスモデルなどを検討していく。令和8年の空港100周年に空飛ぶクルマを飛ばしてほしいという声については、鋭意検討中である。エアモビリティが将来の本市にとって重要な成長戦略かは判断しようがないが、近未来の本市にとっては間違いなく重要な取り組みになる。4年後に迫った開港100周年事業に向け、JALさんとの連携を起爆剤とし、お祭りムードを醸成したいと思う。

# JR長都駅前への 交番設置を要望しました

11月14日（月）に、山崎議長、小林副議長、仲山厚生環境常任委員長および飯田同副委員長が、横田副市長とともに千歳警察署を訪問し、平成26年から通算で9回目となる「JR長都駅前への交番設置を求める意見書」を、田中千歳警察署長に手交しました。



田中署長に意見書を手渡す山崎議長  
左から、田中署長、山崎議長、小林副議長、仲山委員長、飯田副委員長



佐藤地域企画課長に意見書を手渡す山崎議長  
左から、佐藤地域企画課長、山崎議長、小林副議長、仲山委員長、飯田副委員長

その後、北海道警察本部を訪問し、佐藤地域企画課長に「同意見書」を手交し、改めて、交番設置の早期実現を強く要望しました。



## 本会議・各委員会の議員出欠状況

令和4年1月1日から令和4年12月31日までの間に開催された、

①本会議（定例会・臨時会）

②特別委員会（予算・決算・補正予算特別委員会）

③常任委員会等（総務文教・厚生環境・産業建設常任委員会および議会運営委員会）

の議員出欠状況（回数）をお知らせします。

なお、議員出欠状況の詳細は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議席番号 ・議員名	区分	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等	
		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1	山崎 昌則	27	0	16	0	-	-
2	渡部謙太郎	27	0	15	1	34	1
3	北原 偉男	26	1	16	0	32	1
4	岩満 順郎	27	0	13	0	17	0
5	丸岡 伸幸	27	0	13	0	18	0
6	吉谷 徹	27	0	16	0	35	0
7	落野 章一	27	0	14	0	15	0
8	飯田 盛好	27	0	15	0	15	0
9	大山 益巳	27	0	15	0	17	0
10	山口 康弘	27	0	13	0	36	0
11	松倉 美加	27	0	15	0	35	1
12	北山 敬太	27	0	15	0	35	0

議席番号 ・議員名	区分	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等	
		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
13	松隈 早織	27	0	16	0	18	0
14	相沢 晶子	26	1	14	0	17	1
15	小林千代美	27	0	16	0	14	1
16	五十嵐桂一	27	0	14	0	18	0
17	佐々木雅宏	25	2	15	0	36	0
18	古川 昌俊	26	1	12	2	32	1
19	坂野 智	26	1	14	0	17	0
20	今野 正恵	27	0	14	0	18	0
21	平川美由紀	27	0	15	0	35	0
22	仲山 正人	27	0	14	0	33	0
23	宮原 伸哉	27	0	13	0	15	0

（注1）②と③の回数については、各議員の特別委員会、常任委員会および議会運営委員会への委員の就任状況により異なります。

（注2）山崎昌則議長は、申し合わせにより議長就任中は常任委員会委員を辞退しています。

# 議決結果概要・議案についての賛否など

「○」 = 賛成  
 「×」 = 反対  
 「欠」 = 欠席

件名・議案賛否・議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	委員会	議決結果	
	山崎昌則	渡部謙太郎	北原偉男	岩満順郎	丸岡伸幸	吉谷徹	落野章一	飯田盛好	大山益巳	山口康弘	松倉美加	北山敬太	松隈早織	相沢昂子	小林千代美	五十嵐桂一	佐々木雅宏	古川昌俊	坂野智	今野正恵	平川美由紀	仲山正人	宮原伸哉			
議案第1号	千歳市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第2号	千歳市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第3号	千歳市議会議員及び千歳市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第4号	千歳市個人情報保護条例等の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第5号	千歳市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第6号	千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第7号	千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第8号	千歳市サーモンパーク条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第9号	指定管理者の指定について（千歳市サーモンパーク）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第10号	指定管理者の指定について（千歳市在宅福祉総合センター・千歳市祝梅在宅福祉センター）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第11号	札幌圏消防指令システム更新工事に係る費用負担について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第12号	札幌圏消防救急デジタル無線システム更新工事に係る費用負担について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第13号	市道路線の認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第14号	令和4年度千歳市一般会計補正予算について（第6回）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第15号	令和4年度千歳市国民健康保険特別会計補正予算について（第1回）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第16号	令和4年度千歳市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算について（第1回）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第17号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第18号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	同意
諮問第1号 ～ 諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	可と決定
陳情第3号	医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	厚生環境	不採択
意見案第1号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案第2号	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

※ 議員番号「1」山崎昌則 議員は、議長のため賛否は「-」としています。

# 「市民の声を聴く会」の開催について

第10回市民の声を聴く会は、「議会と選挙」をテーマに、議会の歴史や若年層の投票率、議員の仕事・役割などについて説明します。その後、議会や選挙に関してのご意見や目ごろ感じていることについて、フリートークを予定しています。

今回は、学生を中心とした気軽に参加できる内容としていますので、みなさんのご参加をお待ちしています。

【日時】 令和5年2月13日（月）  
16時00分～17時30分（開場は15時30分）

【場所】 まちライブラリー@ちとせ  
（千歳駅前東口広場 アルファ千歳ビル1階）

【定員】 30名（席の都合上、受付を終了させていただく場合があります。）

【申込】 不要  
（当日は、直接会場にお越しください。）

【問い合わせ】  
千歳市議会事務局  
電話：24-0773 または 24-0793  
メール：gikaisomu@city.chitose.lg.jp



## 議会事務局からのお知らせ

### ★議会の予定

令和5年第1回定例会は、3月1日（水）に開会する予定です。

正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページやポスターでお知らせします。

### ★ホームページのご案内

会議の出席状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などもご覧になれますので、ぜひアクセスしてください。



### ★表紙を募集しています！

市議会だより（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

### （問い合わせ）

千歳市議会事務局 総務課 調査係  
TEL 0123-24-0791（直通）  
E-mail: gikaisomu@city.chitose.lg.jp

### ★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、点字図書室までお問い合わせください。



### （問い合わせ）

千歳市総合福祉センター2階  
点字図書室 TEL 0123-27-3921

## 編集後記

議会は、その街の縮図だと感じています。例えば、議場が立派だとしたら、その街の公共施設は立派なのじゃないか、ですとか、議場でのやり取りが明朗闊達なものならば、その街の住民もそうだろう、といったことです。ぜひ、皆さんもご自身の目でご覧になり、千歳のまちの雰囲気を実感してください。そして、感じたことをアンケートで届けていただけると大変うれしいです。そちらを踏まえ、今年も議会でのやり取りをわかりやすくお伝えする議会報となるよう、議員一同研鑽いたします。本年も見やすい紙面づくりに努めて参りますので、ご愛読いただけますよう、よろしくお願いたします。

### 議会報編集委員会

委員長 山口 康弘  
副委員長 仲山 正人  
委員 北原 偉男  
相沢 晶子  
吉谷 徹

市議会だよりは、再生紙と植物油インキを使用しています。